

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 9, 事業名, 新たな記帳指導方針の策定・実施, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 5, 施策名, 記帳継続指導の財務会計活用型への変革

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

これまでの記帳指導は、事業者の基礎的な日々の記帳から、決算・申告までを支援する税務指導を行ってきた。しかし、事業者を取り巻く環境が大きく変化している中、その経営課題に対し、解決策を見出し提案していくきめ細やかな個社支援が求められている。

2. 事業のねらい

商工会が日々の記帳から把握している計数等により事業者の経営状態を読み取り、経営計画の策定を支援するほか、計画の進捗状況を把握し、実行を支援する経営指導と一体となった「財務会計活用型」の新たな記帳指導を推進する。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, -, H30, H31, H32

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 18 (新記帳指導方針の策定・実施), 19 (職員の資格取得の推進), 20 (財務会計活用型支援の実行に向けた具体的な取組)

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 19, 取組コード, 19, 取組コード, 19, 指標名, 職員の資格取得の推進, 指標名, 19, 指標名, 19, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33. Rows include 指標名, 年度, 目標, 実績, 達成率, 達成度

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈評価の理由〉

新たな記帳指導方針の実施は、事業者の複雑な経営課題に迅速かつきめ細やかに対応するため、必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) c

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

「簡易診断レポート」については、3月の申告期に集中するため、目標は達成されていない。また、資格取得については、制度変更により今年度は実施していないため達成していない。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

適正な月次処理が浸透してきているため、事務処理の平準化につながってきている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

新たな記帳指導方針の実施により適正な月次処理が経営の改善発達につながっている。

3. 課題

「商工会財務戦略アドバイザー」の制度変更に伴い、職員の能力向上をどのように行うか検討する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

「簡易診断レポート」を年度末だけでなく、月次に提供できるよう事業者への啓もう、職員の意識改革及び能力向上に努める。